



JFE

2011年11月17日

JFEエンジニアリング株式会社

国内初!!

溶融亜鉛メッキ工場の廃酸から亜鉛リサイクルの技術確立

JFEエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：岸本純幸）の100%子会社であるJFE環境株式会社（横浜市鶴見区、塚本英夫社長）は、このたび、溶融亜鉛メッキ工場の廃酸に含まれる亜鉛の90%以上を回収し、リサイクルする技術を日本国内で初めて開発しました。

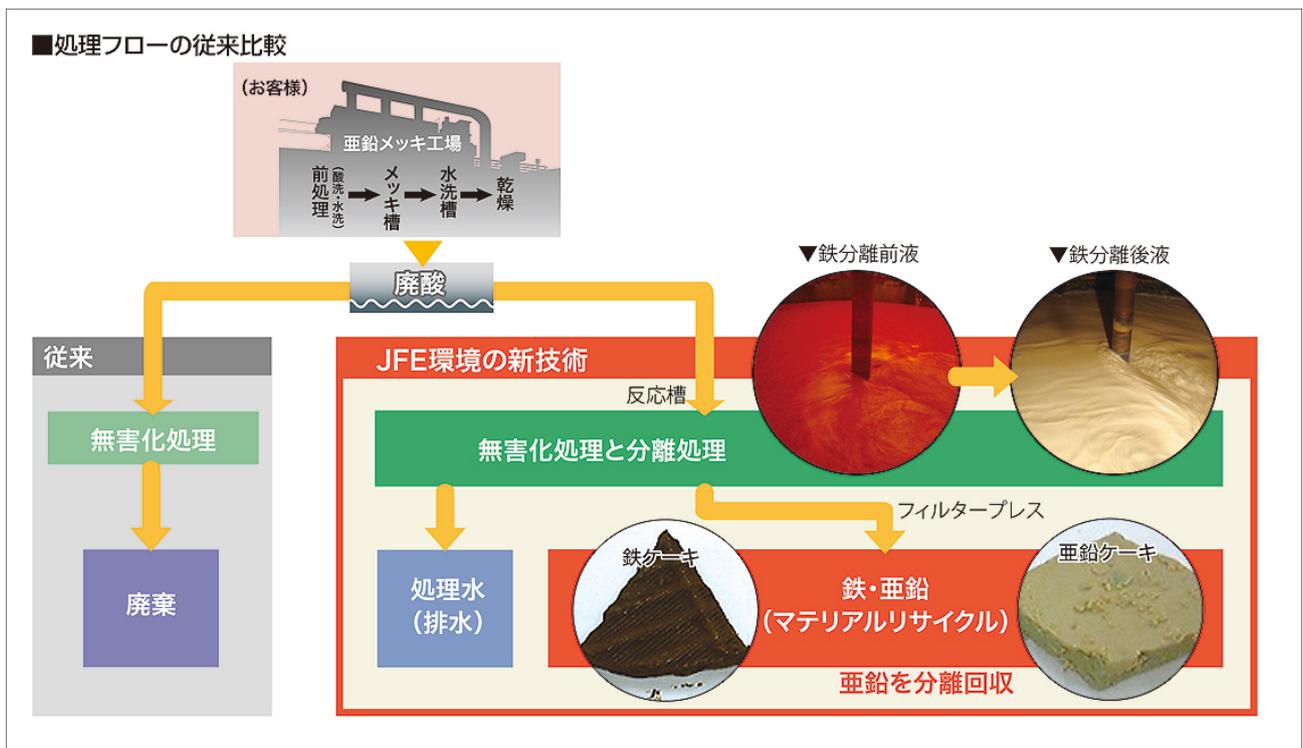
溶融亜鉛メッキ工場の廃酸（含：亜鉛5～15%、鉄5～10%、主として塩酸ベース）は、東日本地区だけでも年間約1万トン排出されています。これまで、廃酸は、その中に含まれる鉄と亜鉛を分離することが困難だったため、無害化処理を行った後、埋立てなどで処分されていました。処分されていた亜鉛の量は、製品換算すると、年間約2億円相当^{※1}になります。

JFE環境は、この廃酸を一定条件下で酸化させることで、亜鉛と鉄を安価かつ効率的に分離させることに成功しました^{※2}。回収された亜鉛は、亜鉛鉱石の代替物として、精錬メーカーに販売され、リサイクルされます。

今回、新技術が確立したことにより、JFE環境は、来年4月を目処に亜鉛リサイクル事業を開始する予定です。

※ 1：東日本地区を対象とし、製品価格を22万円/トンとして換算

※ 2：特許2件出願中



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室